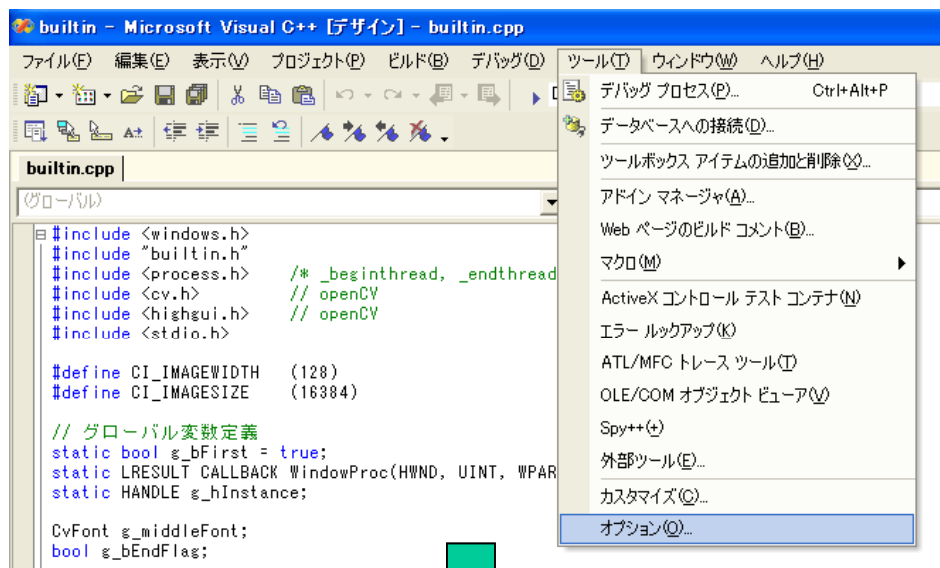




ASPECTUSと OpenCV2. 1の 組合せ利用に関して

Visual C++の環境設定①



《手順》

以下の順で、設定してください。

“ツール”→“オプション”と進み ダイアログを開く



オプションダイアログの“VC++ディレクトリ”を選択



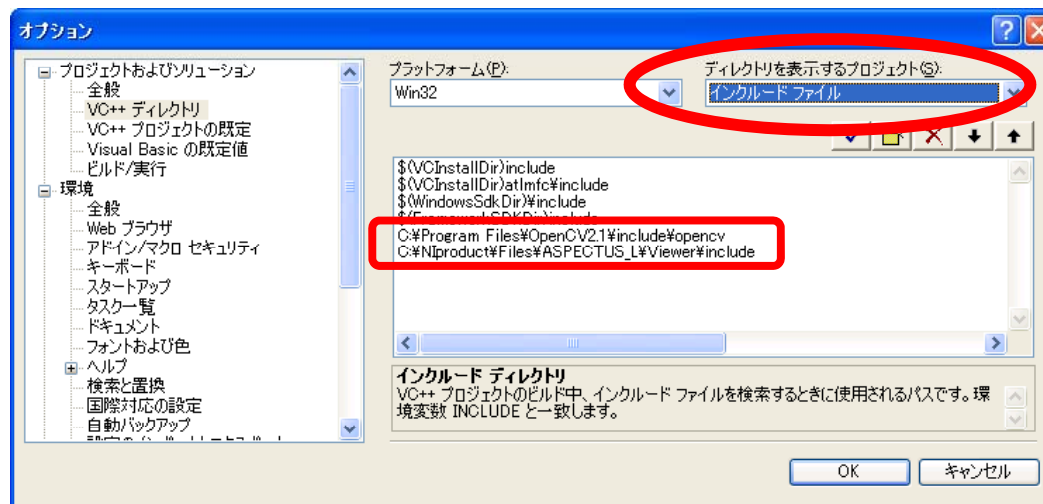
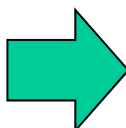
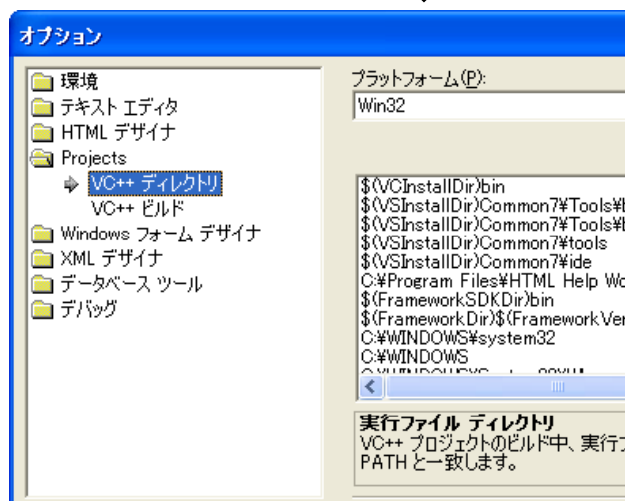
“ディレクトリを表示するプロジェクト”の項目の
“インクルードファイル”を選択



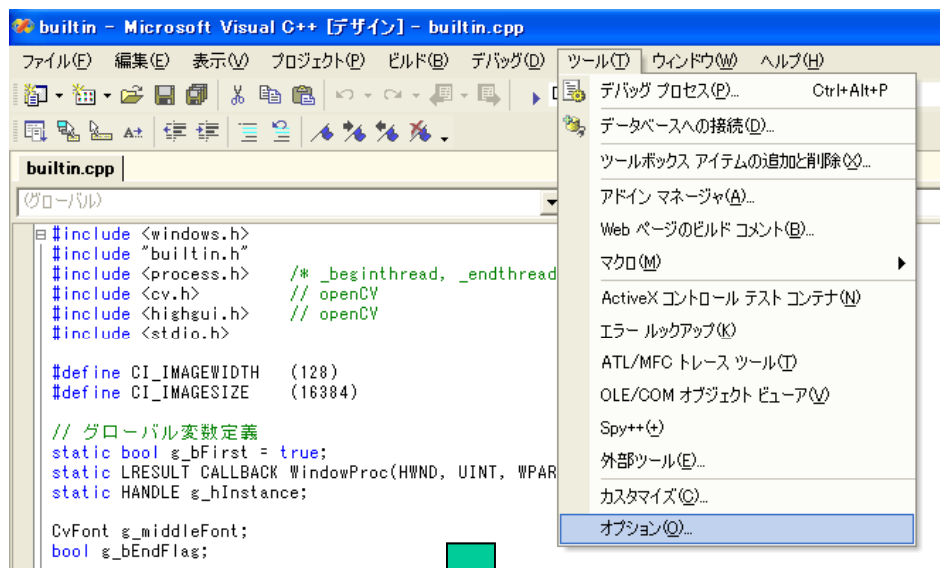
次を追加

C:\Program Files\OpenCV2.1\include\opencv

C:\Program Files\ASPECTUS_L\Viewer\include



Visual C++の環境設定②



《手順》

以下の順で、設定してください。

“ツール”→“オプション”と進み ダイアログを開く

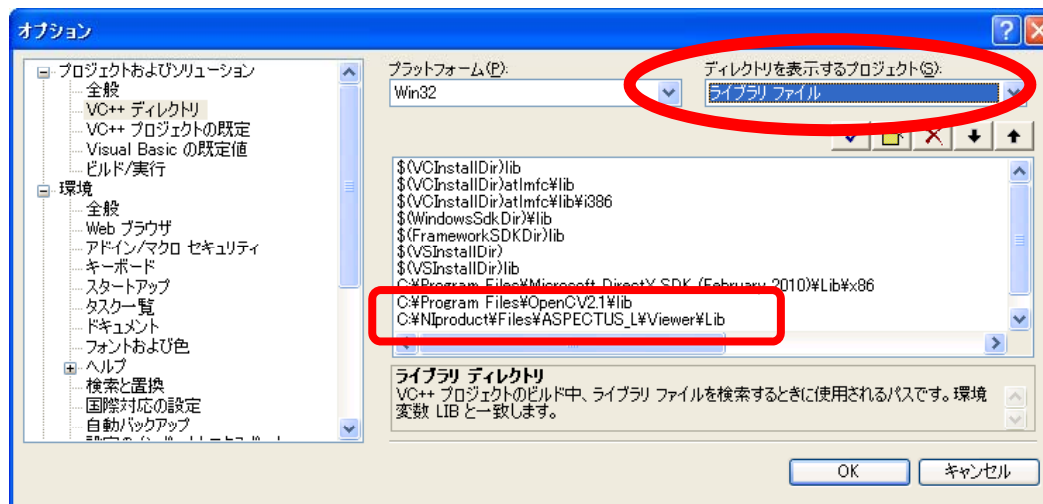
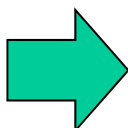
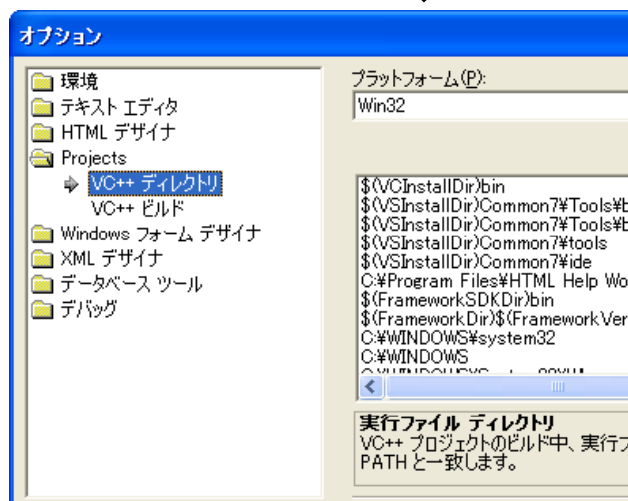
オプションダイアログの“VC++ディレクトリ”を選択

“ディレクトリを表示するプロジェクト”の項目の
“ライブラリ ファイル”を選択

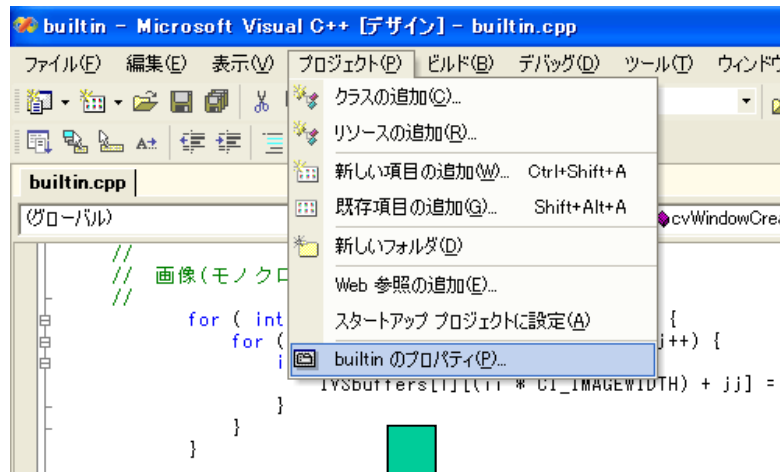
次を追加

C:¥Program Files¥OpenCV2.1¥lib

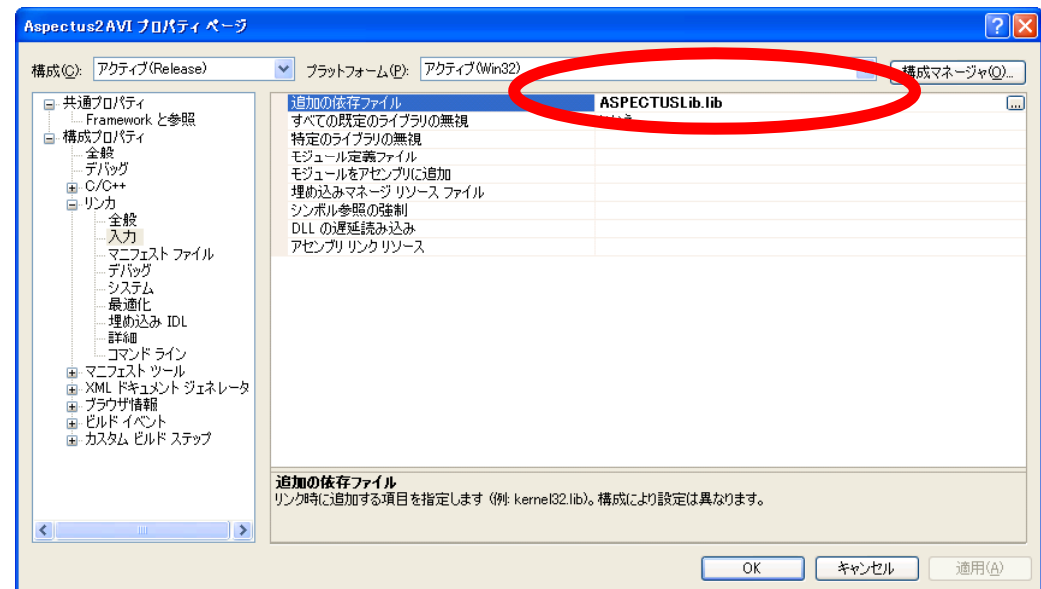
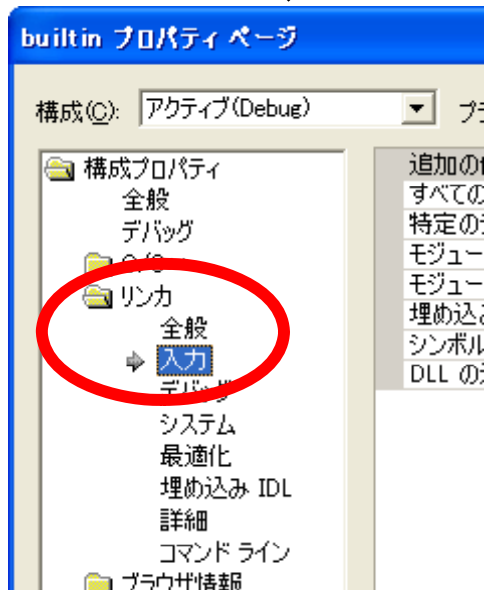
C:¥Program Files¥ASPECTUS_L¥Viewer¥lib



Visual C++の環境設定③



《 手順 》
 以下の順で、設定してください。
 “プロジェクト”→“プロパティ”と進み ダイアログを開く
 ↓
 “リンカ”の“入力”を選択
 ↓
 次のファイルを追加
 ASPECTUSLib.lib



C:\Program Files\OpenCV\bin より

次の4つのDLLをコピー

cv210.dll
cxaux210.dll
cxcore210.dll
highgui210.dll

C:\Program Files\ASPECTUS_L\Viewer より

次のDLLをコピー

ASPECTUSLib.dll
ni_udll.dll

ASPECTUS Viewer の実行ファイルが有るフォルダ

C:\Program Files\NeuralImage\AspectusViewer\bin

